

デンソーグループ中期方針（2015～2018年度） —2018年中期方針—

特集 FEATURE

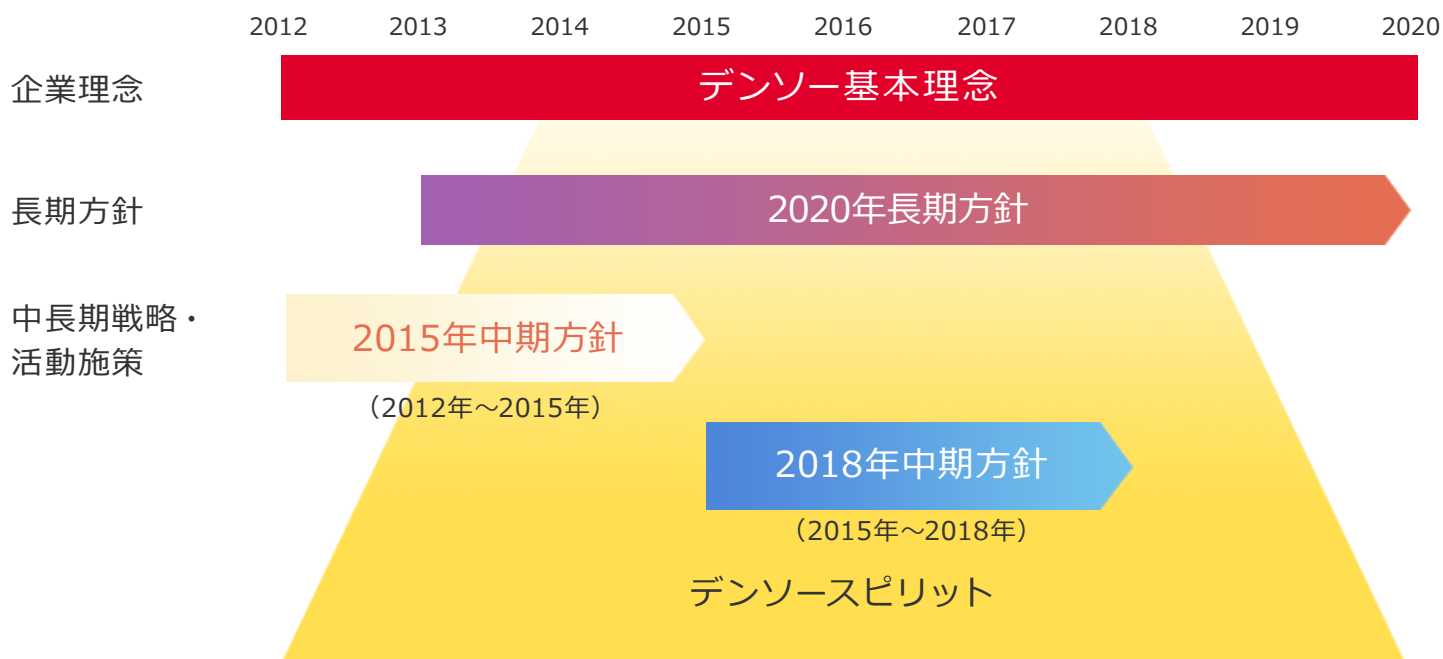
2018年中期方針

新たな価値創造を
目指して



当社は、2013年4月に策定した「デンソーグループ 2020年長期方針」に従い、長期的なありたい姿を視野に入れた上で、2018年を達成年度とする中期方針と推進テーマを策定しました。新中期方針では、引き続きグループ全体で環境負荷・交通事故の低減にこだわり、従来からの活動をより進化させることで、持続的な成長を目指します。

位置付け

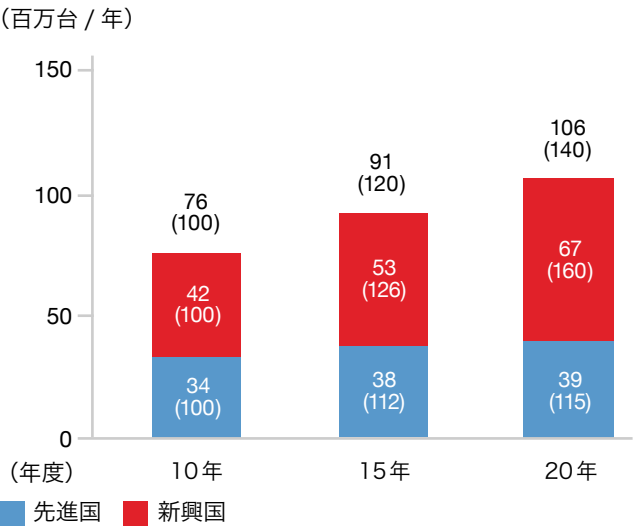


足元の環境認識（策定の背景）

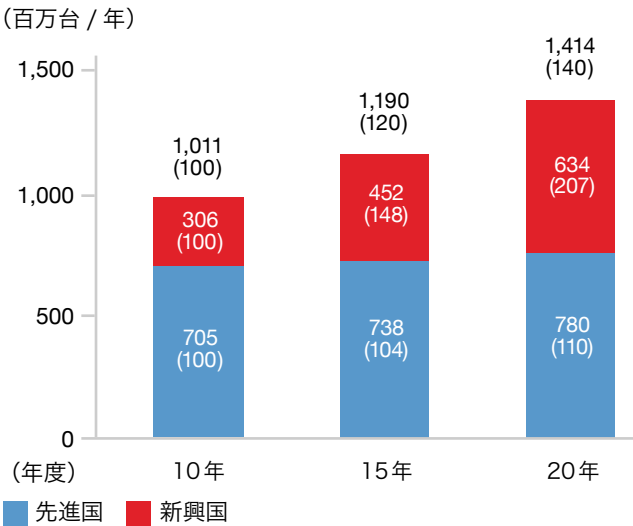
1. 新興国が引き続き市場を牽引

販売台数、保有台数ともに新興国で拡大。
→ 海外市場の成長を捉え、グローバル製造体質の強化が必要。

販売台数見通し

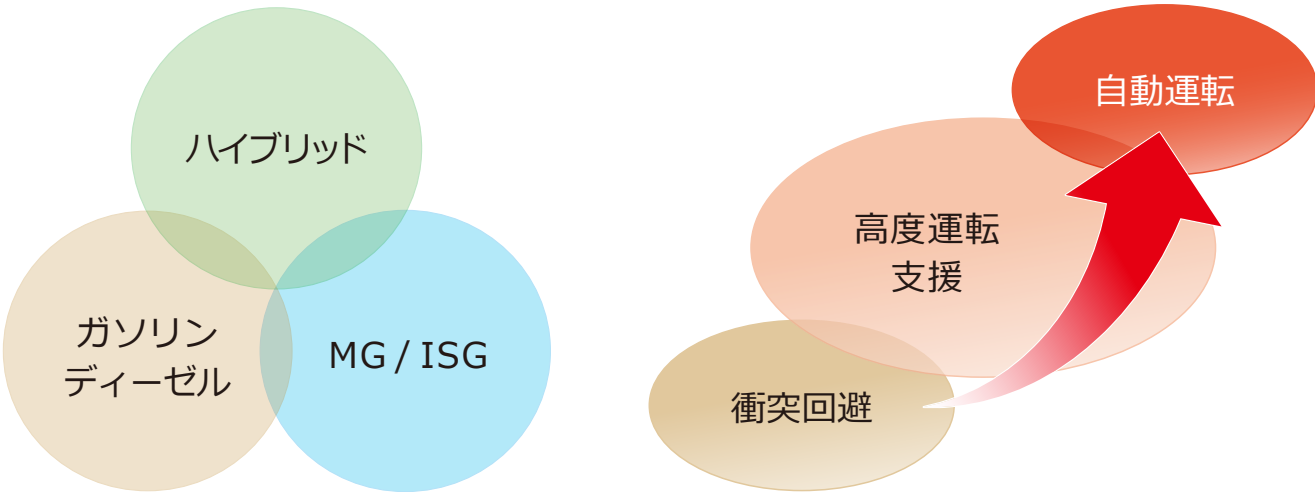


保有台数見通し



2. 環境と安心・安全のニーズ拡大

内燃機関の効率向上、電動化、それらの最適組み合わせの提案が求められている。
→ システムTier1として提案力を高めていくことが必要。

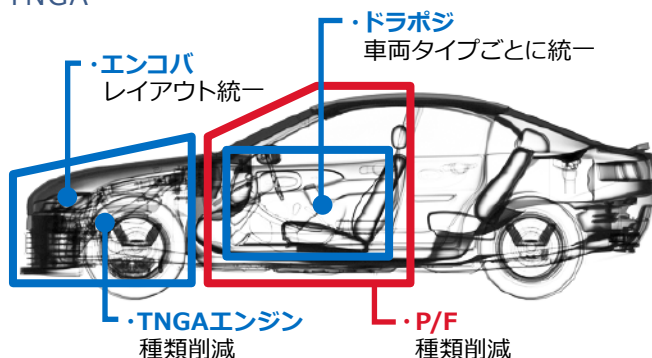


3. 部品・ユニットの標準化加速

車両の商品力強化と開発コストの削減の両立に向け、
部品・ユニットの標準化が加速。

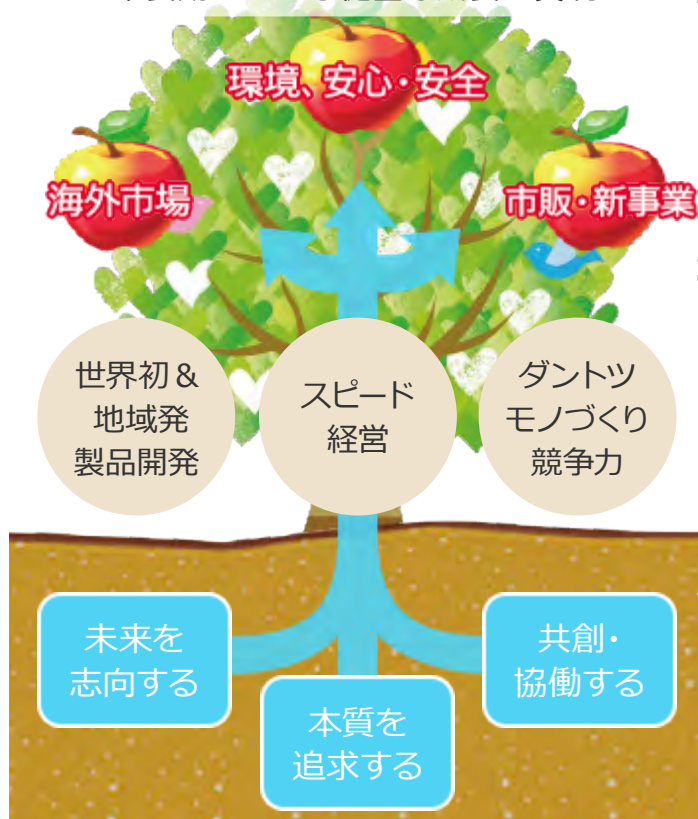
→ 標準化に伴う品質リスクへの構えが必要。

TNGA



2018年の目指す姿

中長期にわたる健全な成長を実現



実らせたい果実

足元の経営課題及び長期的な
社会課題解決視点から

注力する事業



果実に栄養を送り込む幹

注力事業の拡大を
リード&サポートするために

強化する機能

樹木を支え育む土壌

事業の拡大、機能強化を成し遂げるために

兼ね備えたい企業体質

中期方針と推進テーマ

○ 中期方針

1. 環境、安心と安全で社会に貢献
2. 多様なニーズに応える技術開発・モノづくりの進化
3. 継続的な人材育成の推進

○ 推進テーマ



注力する事業

「環境、安心・安全」「市販・新事業」「海外市場」を特に注力する事業と定め、事業拡大に取り組んでいきます。



環境、安心・安全

社会課題解決に向けたシステム商品を創出し、環境負荷・交通事故の低減に向けて信念を持って挑戦し続けます。

市販・新事業

市販・新事業の拡大への挑戦を通じ、社会ニーズ・エンドユーザ視点で新しい価値を創造します。

海外市場

顧客との信頼関係の強化と地域のプレゼンス向上により、多くの国の人々にクルマの利便性・喜びを届けます。



強化する機能

注力する事業をリード・サポートするために、「世界初・地域発製品開発」「ダントツモノづくり競争力」「スピード経営」を強化していきます。



世界初・地域発製品開発

世界初にこだわる開発力の向上に加え、地域の得意な分野、地域の知恵を活用した技術開発力を強化します。

具体的な取り組み

1. 先端技術研究の加速と社会・人間研究の強化。
2. 地域ニーズを先取りした商品構想と先進技術開発の強化。

ダントツモノづくり競争力

ダントツモノづくりで競争力を発揮して、地域No.1の生産供給体制の実現と飛躍的な生産性向上を目指します。

具体的な取り組み

1. 製品進化（高難度化・システム化）と海外生産拡大に対応した、製品とモノづくりの同時開発推進。
2. One DENSO で堅固なモノづくり基盤を固め、地域 No.1 の生産供給体制とダントツ工場を実現。

スピード経営

グローバルな協働により働き方を変革し、経営のスピードアップを図ります。

具体的な取り組み

1. 国籍、性別、キャリア等、世界の多様な人材による協働。
2. グローバルな次世代システムの構築と業務スピードを高める働き方への変革。